

2018年4月

## 大学生活における日本と中国の違い

滝田 和己

日本では新学期が始まり、桜が似合う暖かい季節になったと思います。ここ山西省太原市も心地よい暖かさが訪れ、4月後半には半袖シャツ一枚でも外に出られるほどでした。それとは反面まだ乾燥した日々が続いており、人によっては肌のケアがまだまだ欠かせない状態です。またキャンパス内に桜は無いのですが、多種多様な花が綺麗に咲くようになりました。しかし「花」と聞いて、厄介なのは花粉症ではないでしょうか。私は花粉症をもっていないのですが、中国でも花粉症に悩まされている人がちらほらいます。しかし中国国内の場所にもよると思いますが、山西省では周りに花粉症でひどく苦しんでいる人はあまり見受けられず、日本の花粉と比べると症状は弱めだなと感じました。

暖かくいい天気の日、昼寝好きの私にとっては「昼寝日和だなあ」と感じます。そんな日に外でベンチに座って昼寝でもすれば、さぞかし気持ちいいのだろうなと思ってしまいます。さて、私は中国に来てからはほぼ毎日昼寝をしています。以前のレポートでも触れたことがあります。中国では昼寝の習慣があり、ほとんどの生徒が寮で毎日昼寝をしています。中国の学生は勤勉家で、ある学科では毎朝7時には教室で自習をしないといけないらしく、別の学科の生徒でも自分で毎朝早起きして自習をしているらしいです。ですから中国の生徒はただ昼寝をしているのではなく、早寝早起きの習慣があるからこそ昼寝が生きています。朝早く起き勉強をして、昼寝をしてまた午後に集中して勉強。先月までこのことに気づかなかった私は特別早起きもすることなく、普通に昼寝をしていたため、時間の有効活用があまりできていませんでした。日本と中国の生活において、昼寝の有無だけが違うのではなく1日のサイクル自体が違うので、中国で生活をするようなことがあれば起床時間に気をつけてみてはどうでしょうか。

この留学生活が始まってから、留学生として多種にわたるイベントに何度も参加しました。中国の学生はキャンパス内の寮に住み、比較的生徒が集まりやすいこともあり、毎月いろんなイベントや行事が開催されます。日本の大学生活でもイベント事が全くなかった訳ではないのですが、中国ほど多くは無いです。今回はこういった、日本の大学と中国の大学の違いについて、自分なりの観点から述べたいと思います。

まずは上記でも述べたイベントについて。この4月にも地球環境デーのイベント、商務学院にて詩の朗読大会、運動会等に我々留学生も参加しました。これらの行事以外にも中国の生徒だけで開いたイベントもきっとたくさんあるでしょう。思い出せる限りではありますが、下記の通り表にまとめました。

月	場所	内容
9	商務学院	一年生歓迎会。ステージ上で歌やダンス等を披露。留学生は何グループかに分けて歌とダンスを披露。
9	山西大学	運動会
12	山西大学	生徒主催で歌やダンス、語学サークルで演劇や外国語の吹き替えを披露。私はサークルのメンバーで演劇を披露。
12	山西大学	中国人生徒による英語ディベート。友人と見に行った。

1 2	山西大学	国際教育交流学院主催で漫才やダンス等の出し物を披露。私は演劇、二胡の演奏、詩の朗読、ダンスに参加。
1	商務学院	国際交流学院主催の新年パーティー。各グループが出し物を披露。留学生は歌や演劇を披露。
1	山西大学	山西大学の国際化に向けて PR ビデオの撮影。
3	山西大学	ノースカロライナ大学の教授を歓迎する芸術発表会。楽器演奏やダンスを披露。留学生は書道作品の発表。
4	山西大学	地球環境デー。環境問題をテーマにした演劇やスピーチ、詩の朗読等を披露。留学生は自国の環境問題についてスピーチをした。
4	商務学院	詩の朗読大会
4	商務学院	運動会

これら以外にも生徒たちで綱引き大会をしているところや学科対抗のスポーツ大会をしているところを時々見かけます。中国の大学ではこういった行事の参加は成績の加点になるらしく、生徒みんなが積極的に参加しています。日本と異なりおもしろい制度ですね。

大学のキャンパスも日本のキャンパスとは大きく異なります。中国の生徒はキャンパス内の寮に住んでいるので、キャンパスが一つの小さな町のようにあり、生活用品からサービス業まで幅広くキャンパス内に収まっています。運動場も毎日解放しており、よく運動している生徒や一般市民を見かけます。よってキャンパス内の雰囲気は中国の方がより賑やかな感じがします。日本では辺りを見渡せば大学生ばかりの風景ですが、中国では学生のみならず大人や子供までキャンパスのいたるところで見かけ、生活感が溢れています。学生寮だけでなく、教師が住む寮や一般市民のアパートもキャンパス内や付近にあるので、このようなことが起こるのだと思います。

また中国の大学では、新1年生は2週間ほどの軍事訓練があります。9月の頭、1年生全員は毎日迷彩服を着て、行進の練習等を行っていました。この軍事訓練も日本の大学ではなかなか見かけない光景ですね。

今回紹介したこと以外にも、日本の大学と違う点はまだあると思います。国が違えば習慣も違いますし、異なる文化に触れる楽しさを味わえるのも留学のいいところだと思います。私自身もこのような貴重な体験を通じて豊かな思考力を付けていきたいです。



地球環境デーのイベント。  
日本の環境問題についてスピーチしました。



韓国の友人が中国で結婚式を挙げ、私は介添えとして参加しました。  
中国の結婚式は一風変わっており面白いです。



商務学院で行われたイベント。  
みんなで「和」の字を書きました。